

戸建住宅用

日立バスルーム

スパジアEX-1818
DX-1618

取扱説明書

(ご愛用のしおり)

浴室のお手入れとお取扱について



※本写真はEKX-1818です。

保証書在中

大切に保管してください



株式会社 日立ハウステック

ご愛用者のみなさまへ

このたびは、「日立バスルーム」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。長くご愛用いただくために、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

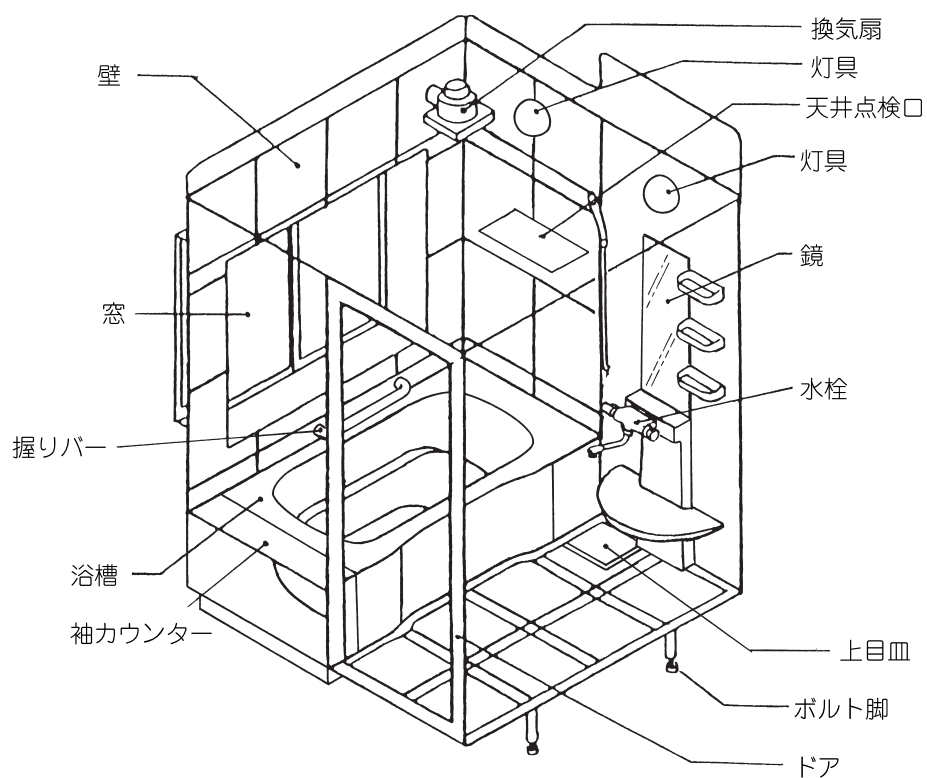
●この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに「保証書」とともに大切に保管しておいてください。

今後とも弊社製品を、ご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

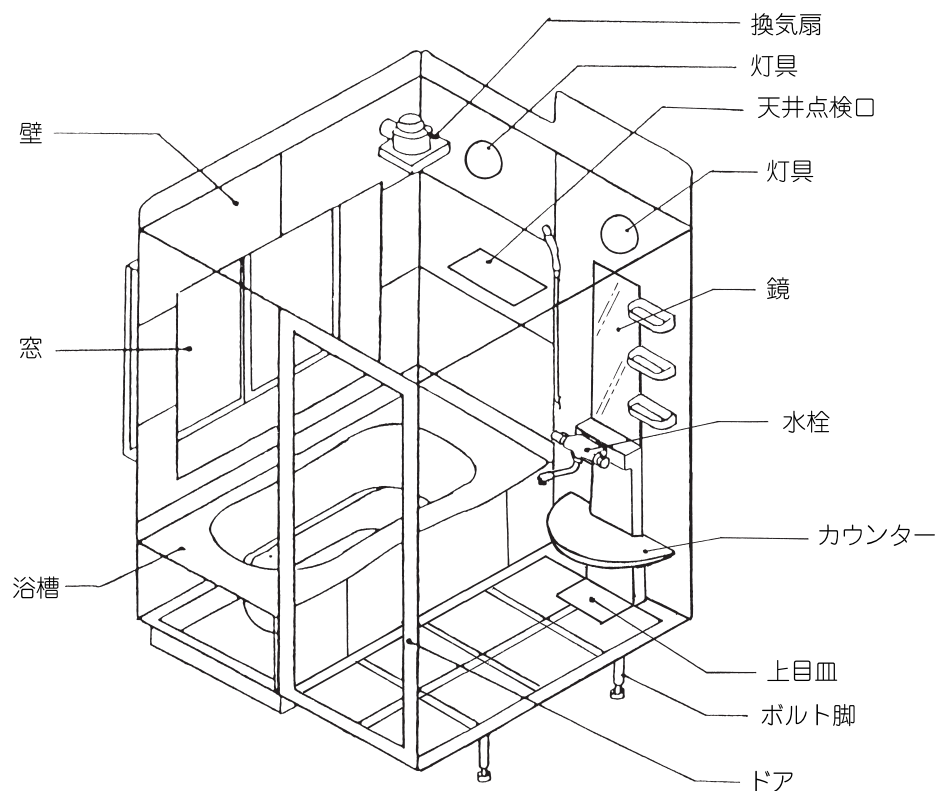
目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全上のご注意	2
(必ずお守りください。)	
3. 使用方法と使用上のご注意	
(1) 給水給湯について	8
(2) 換気について	9
(3) 排水について	10
(4) 表面保護について	10
(5) 灯具について	11
(6) 鏡について	12
(7) 目地について	12
(8) 水栓について	13
(9) 握りバーについて	20
(10) ドアについて	20
(11) 袖カウンターについて	24
(12) カウンターについて	24
(13) 点検口について	25
(14) 火気禁止、薬品禁止	26
(15) 浴槽と風呂フタについて	26
(16) 非常連絡ブザー(オプション)について	28
(17) ポップアップ排水栓について	28
(18) スライドハンガー(オプション)について	28
4. お手入れ方法	
(1) 壁・天井・ドアのお手入れ	29
(2) 浴槽下のお掃除をする場合のエプロンの脱着	30
(3) 目地のお手入れ	30
(4) 目皿・排水トラップ・排水マスカバーのお手入れ	31
(5) 床及び浴槽のお手入れ	32
(6) ドア排水溝カバーのはずし方と清掃方法	33
(7) 水栓のお手入れと点検	36
(8) シャワーホースのお手入れ	38
(9) 灯具の交換方法	39
(10) 浴槽下及びバランス釜循環パイプのお手入れ	40
(11) 消耗部品の交換	40
5. アフターサービスについて	40
6. 浴槽・床パンの廃棄について	40
7. 故障かなと思ったら	41

1. 各部の名称



ECX-1818(上目皿が洗場正面コーナーにあります)



DKX-1618(上目皿が洗場正面中央にあります)

本図は、ECX-1818・DKX-1618で示してあります。
タイプにより仕様が異なる所もありますので、ご了承ください。

2. 安全上のご注意

安全上のご注意（必ずお守りください）

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

—— 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。 ——

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意 味
	この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は必ず実行していただきたい「強制」の内容です。
	この絵表示は「感電注意」の内容です。
	この絵表示は「接触禁止」の内容です。

—付記—

* お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

* 転居される場合は、新しく入居される方に製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

安全上のご注意（続き）

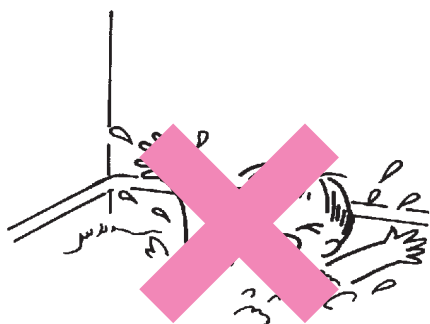
警告

入浴時の注意



禁止

- 幼児や身体の不自由な方を一人で入浴させないでください。おぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。
- 浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。浴そうでおぼれたり、ヤケドのおそれがあります。

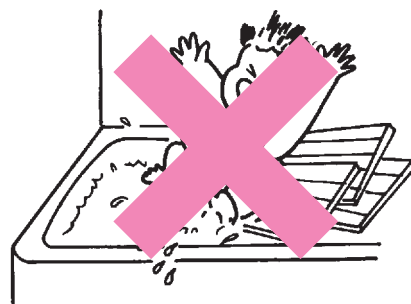


風呂フタについてのご注意



禁止

- 風呂フタの上に手をついたり、のったりしないでください。フタがはずれて、ヤケドやケガをするおそれがあります。

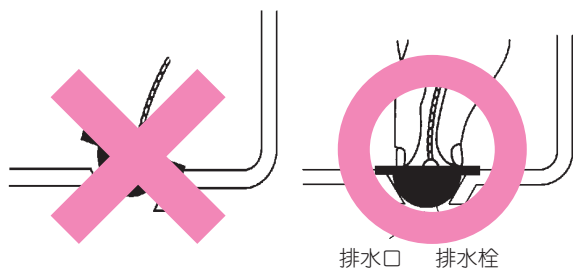


浴槽の排水栓はきちんとしめましょう



排水栓

- 排水栓をきちんと排水口に押しこんでください。風呂釜ご使用の場合水がもれますと空焚きによる火災のおそれがあります。



照明器具の取扱い

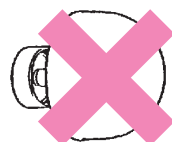


禁止

- グローブなしで使わないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。
- 照明器具にタオルなどを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。



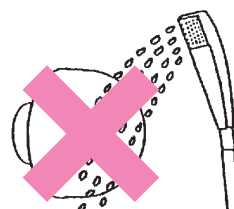
グローブなし



グローブが
ゆるんでいる



タオル
アクセサリーを
掛ける



直接水を
かける

安全上のご注意（続き）

警告



取説確認

- バブルバス・混合水栓・換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。

感電に注意



禁止



感電注意

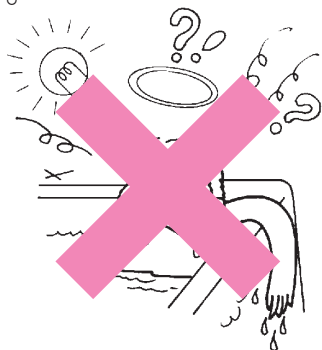
- 浴室内に電気製品を持ち込まないでください。感電のおそれがあります。

飲酒後の入浴禁止



禁止

- お酒を飲んで入浴しないでください。



- ※ 鏡にぶつかって、割れたガラスの破片でケガをするおそれがあります。
- ※ 足を滑らせ、転ぶおそれがあります。
- ※ 転んだ時に、浴槽や、ドア、床などにぶつかりケガをするおそれがあります。



禁止

お手入れ時の注意

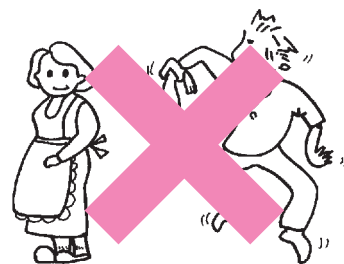
- 照明・換気扇のお手入れ・電球の交換等は、必ず電源を切ってから行なってください。感電やケガをするおそれがあります。



禁止

バブルバス

- 吸込口のカバーを外して使用しないでください。運転中に吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。
- 次の方は使用しないでください。
 - 妊産婦
 - 心臓疾患のある方
 - 高血圧の方
 - 泥酔者身体に異常を起こすおそれがあります。



- 15分以上の使用はしないでください。心臓に負担をかけるおそれがあります。
- 髪の毛が浴槽内へ浸った状態でポンプを運転しないでください。吸込口カバーより髪の毛が吸い込まれて、ケガや事故の原因になります。髪の毛を持ち上げて、浴槽内へ浸らないようにしてください。

安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意



禁止

- 浴槽のふちや、カウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



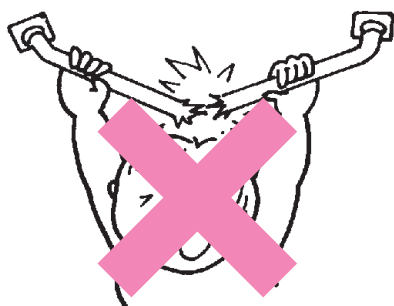
禁止

- 浴室内にガラス製品などの割れやすいものを持ちこまないでください。割れて、ケガをするおそれがあります。



禁止

- 握りバーや、ランドリーパイプなどにぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



湯温確認

- 入浴前に必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。



禁止

- ドアの急激な開閉はしないでください。(ドアは静かに開閉してください。)手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。



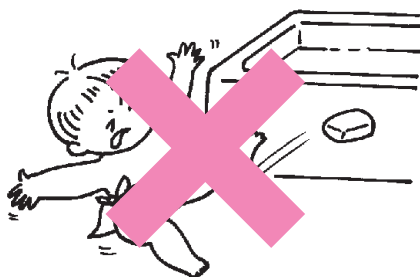
転倒注意

- 電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。



転倒注意

- 浴室内は、石けん液などですべりやすくなっていますから、気をつけてください。ころんで、ケガをするおそれがあります。



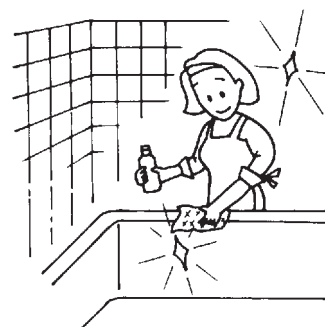
接触禁止

- 出湯時や止水直後は、水栓の金属部にふれないでください。ヤケドをするおそれがあります。



洗剤確認

- 掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。使い方を誤ると人体に影響が出たり、床・浴槽・壁等に不具合を生じるおそれがあります。



湯温注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

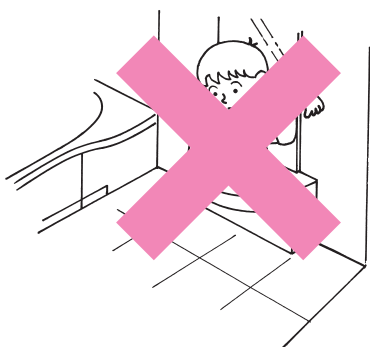
⚠ 注 意



禁止

洗面器置台付収納パネル

- 収納パネルの洗面器置台には、絶対に乗らないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



滑り注意

- 腰掛けスペースを利用して入浴する場合は、握りバーや浴槽グリップなどを利用しながら入浴してください。すべてケガをするおそれがあります。



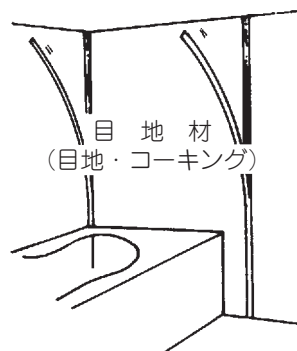
禁止

- 天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。



禁止

- 目地（コーキング）が切れたり、浮いたまま使用しないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- 排水口にシンナー等の溶剤や、薬品類を流さないでください。水もれのおそれがあります。



禁止

- イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります



禁止

- 浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って水がもれるおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

注 意

 禁止	● 浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。	 部品取付	● 商品引き渡し後、器具の位置を変えたり、新しく取付ける場合は、必ず販売店などにご相談ください。誤った取付をすると、思わぬ事故や水もれの原因となります。
 禁止	● 洗場点検口は、設備点検時以外、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。	 風呂フタ	● 風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。
 湯温注意	〈サーモ付混合水栓〉 ● お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、ヤケドをするおそれがあります。	 湯温注意	● 使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、ヤケドをするおそれがあります。
 湯温注意	● 高温の湯をお使いの後は、しばらく水を流してください。次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	 湯温注意	● ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。 ● 温度調整ハンドルはゆっくり回してください。温度が急上昇することがあり、ヤケドをするおそれがあります。
 禁止	● ハンドル操作の急停止は、おやめください。大きな音や振動がすることがあります。これを繰り返すと、配管から水もれをおこし、家財などをぬらすおそれがあります。	 水抜き	〈寒冷地用水栓〉 ● 凍結が予想される時は、水抜きをしてください。凍結破損で水もれをし、家財などをぬらすおそれがあります。

3. 使用方法と使用上のご注意

(1) 給水給湯について

入浴される前に浴槽への給水や給湯には次のことにご注意ください。

浴槽の排水栓はきちんと
しめましょう

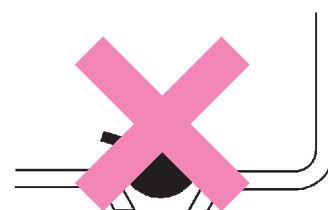
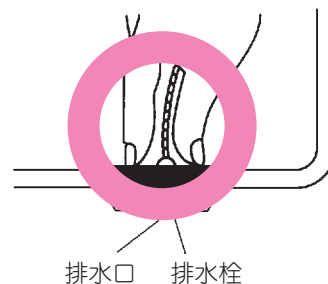


警告



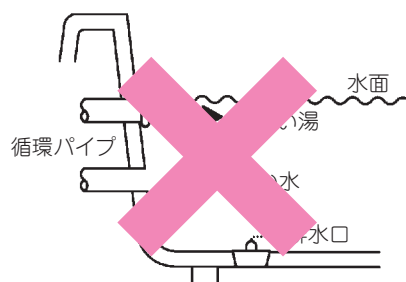
排水栓

排水栓を手でちゃんと排水口に押し込んでください。自然循環式風呂釜をご使用の場合、空焚きとなり、火災のおそれがあります。



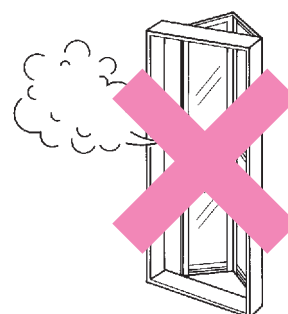
浴槽の水位にご注意ください。風呂釜ご使用の場合

- 風呂釜ご使用の場合は上段の循環口の最上端より10cm以上のところまで水を入れてください。万一浴槽の水位が上段循環口以下のときは、空焚きの原因となりますのでご注意ください。



ドアはきちんとしめましょう

- 給湯する場合は浴室のドアは必ず閉めてください。ドアを開けたままにしておくと浴室外に蒸気がもれて他の部屋に悪影響を及ぼします。

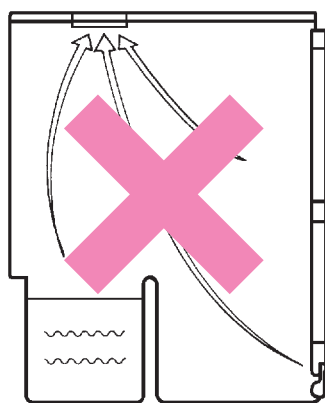
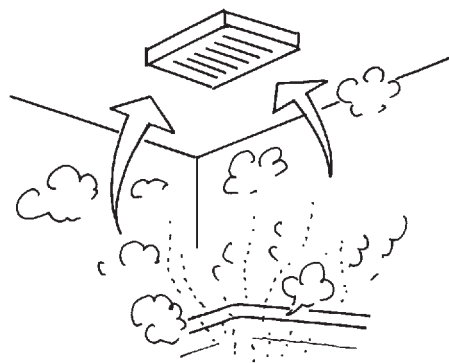


使用方法と使用上のご注意（続き）

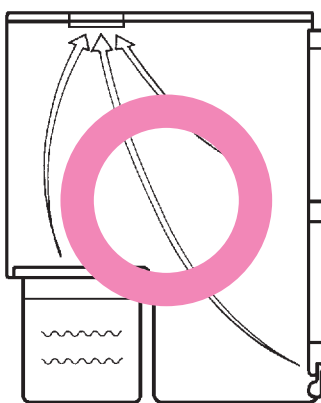
（2）換気について

浴室内を蒸気のこもったまま放置しておきますと、悪臭やカビなどの発生原因となります。また、浴室内のいたみが早くなることもありますので、換気・乾燥を心がけてください。

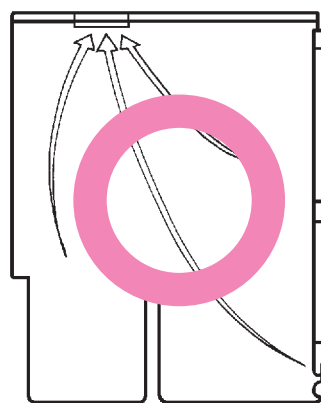
- ①換気扇付きの場合、入浴後、換気扇を30分以上回してください。
夜間（翌朝まで）換気することをおすすめします。（不十分な換気はカビの原因となります。）
- ②入浴中の換気はお避けください。（気温が低い場合は、換気扇内で発生した結露水が落下したり、浴室の扉のガラリを通じて室内より空気が流入して寒く感じる場合がありますのでご注意ください。）
- ③浴槽にお湯がある時は必ず風呂フタをして換気してください。（入浴中以外はこまめに風呂フタを使用されることをおすすめします。）
- ④換気扇は湿った空気を排出する装置ですが、床面や浴槽の表面についた水滴は、湿度の高い雨の日や寒い冬の日等には取れないことがありますのでご了承ください。
（特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご了承ください。）
- ⑤窓がある場合、窓をあけて換気を心がけてください。



浴槽のフタをしないで行う



浴槽のフタをして行う



使用方法と使用上のご注意（続き）

（3）排水について

洗い場の排水口には、臭気止め機構（トラップ）がついておりますので次のことにご注意ください。

トラップは常に正常に

- 上目皿やヘアーキャッチャーを取りはずした状態でのご使用はお避けください。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。

溶剤・薬品等を流さないように



注意



禁止

排水口にシンナー等の溶剤や薬品を流さないでください。水もれのおそれがあります。

トラップ封水切れの注意

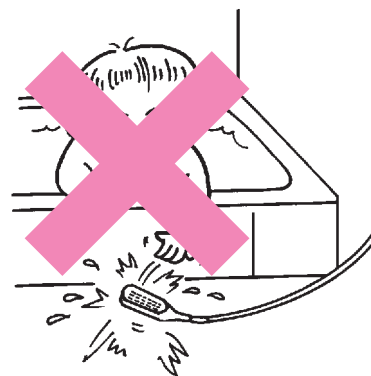
- 長時間留守にする場合蒸発等により封水切れで悪臭の発生や金属製品表面が腐食する場合がありますのでご注意ください。万一臭気が発生した場合は、換気をし、排水トラップに水を流してください。

（4）表面保護について

衛生的で、美しい浴室ユニットを保つために、次のことにご注意ください。

床面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、重くてかたいものを床に落とさないでください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。これらはすべて傷つき・ヒビ割れの原因となります。
- ヘアピン・カミソリの刃などを床に置くとサビが付着してとれなくなることがあります。



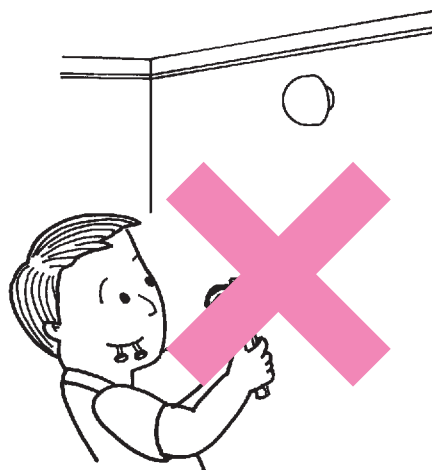
使用方法と使用上のご注意（続き）



禁止

壁・天井・ドア面を傷つけないために

- かたいものでこすったり、たたいたりしますと傷つき破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 壁・天井への穴あけ・釘打ちなどは絶対にしないでください。



壁面を変色させないために

- 壁面（塩ビ鋼板の場合）に吸盤付の石ケン受けなどを取付けますと、吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

(5) 灯具について



禁止

グローブは確実にしめましょう

- グローブ（灯具）をはずしたり、ゆるんでいる状態で使用しないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。

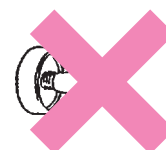
グローブがゆるんでいる



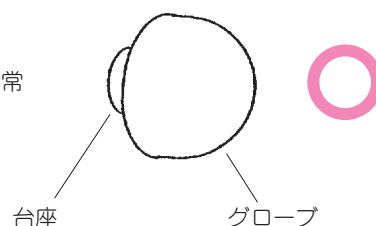
水かけは禁物

- グローブに直接水がかからないようにご注意ください。
- 照明器具には、タオル等のものを掛けしないでください。過熱して、火災になるおそれがあります。

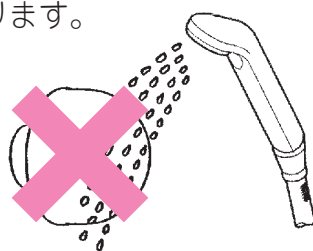
グローブなし



正常



タオル
アクセサリを掛ける



直接水を
かける

使用方法と使用上のご注意（続き）

（6）鏡について



禁止

- 鏡に物をぶつかけたり、たたいたりしないでください。鏡が割れるおそれがあります。
- 浴室内の湯気によりくもる場合は、石ケン水を含んだタオルで鏡の表面を拭いてご使用ください。
- 鏡表面の水滴は拭取ってください。水滴が残っていると乾いたときに汚れがこびりつき、取りにくくなる場合があります。
- 日常のお手入れは、中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 鏡表面の水 droplet あとが中性洗剤で拭取りにくい場合には、クリームクレンザーをご使用ください。

（7）目地について（防水上たいせつな目地材）



目地注意

- 目地材は水もれを防ぐために大変重要なものです。いためたり、取りはずしたりしないでください。
- 入浴後、目地にカビなどが生えないよう換気してください。



注意



禁止

床・壁・天井の継目部分の目地材（コーキング）を傷つけたり、切ったりしないでください。水もれのおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

（8）水栓について

シャワー使用後は切替レバーを蛇口（吐水パイプ）側におきましよう



湯温注意

- 切替レバーをシャワー側にしておきますと、思わぬ時に水を頭からかぶることがあります。
- シャワー側にしたままでお湯から先に出しますと、熱湯を頭からかぶりやけどをする危険があります。



混合水栓の蛇口はゆるやかに横に動かしましょう

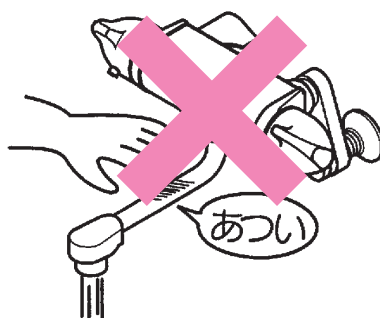
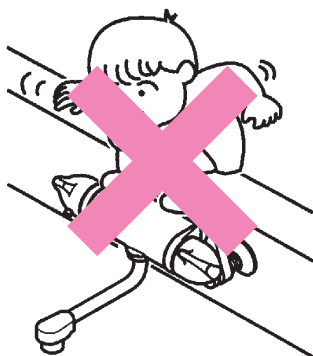
- 蛇口を上下に動かしたりしますと水もれの原因となります。

混合水栓の上にのらないでください



禁止

- 水栓の本体及び蛇口（吐水パイプ）にのらないでください。水栓の上に足をかけたり、お子様がぶらさがったりすると危険です。
- 水栓の本体や吐水パイプの金属部分を触らないようにしてください。給湯中でなくても熱くなっていることがあります。

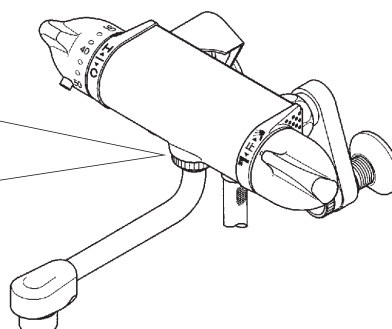
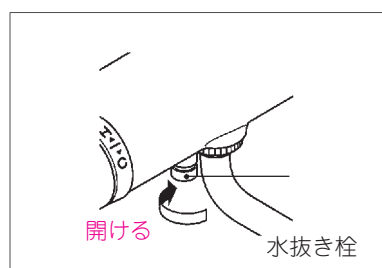


寒冷地用水栓ご使用の場合



禁止

配管の凍結が予想される場合は、水栓の水ぬきを必ず行ってください。



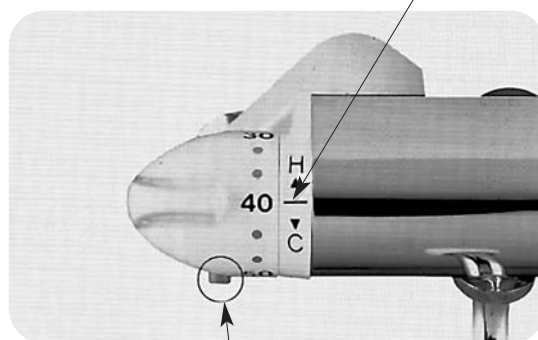
使用方法と使用上のご注意（続き）

サーモ付混合水栓の場合 〔KF180の場合〕



温度調節ハンドルの操作方法

- (1) ご希望の給湯温度目盛を本体ストッパーリングの温度調整ポイントに合わせてから右側のレバーハンドルを廻してください。
- (2) 42℃以上の給湯をご希望の場合はハンドル部のボタン（安全ロックボタン）を押して廻してください。

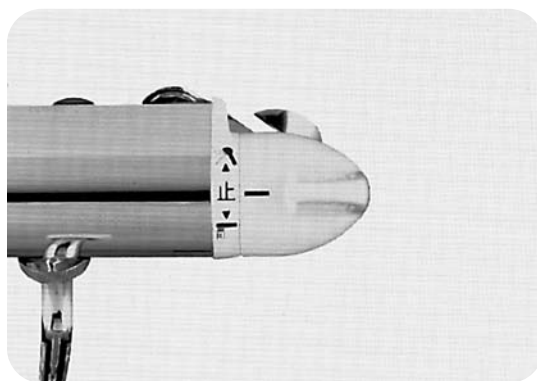


温度調整ポイント

安全ロックボタン

吐水切換レバーハンドルの操作方法

- (1) 混合水栓用
吐水切換ハンドルで吐水・止水・流量調整ができます。
- (2) シャワー用
吐水切換ハンドルで蛇口（吐水パイプ）・止水・シャワー切換・流量調整ができます。ーラインを下へ廻すと蛇口（吐水パイプ）、上へ廻すとシャワー吐水になります。

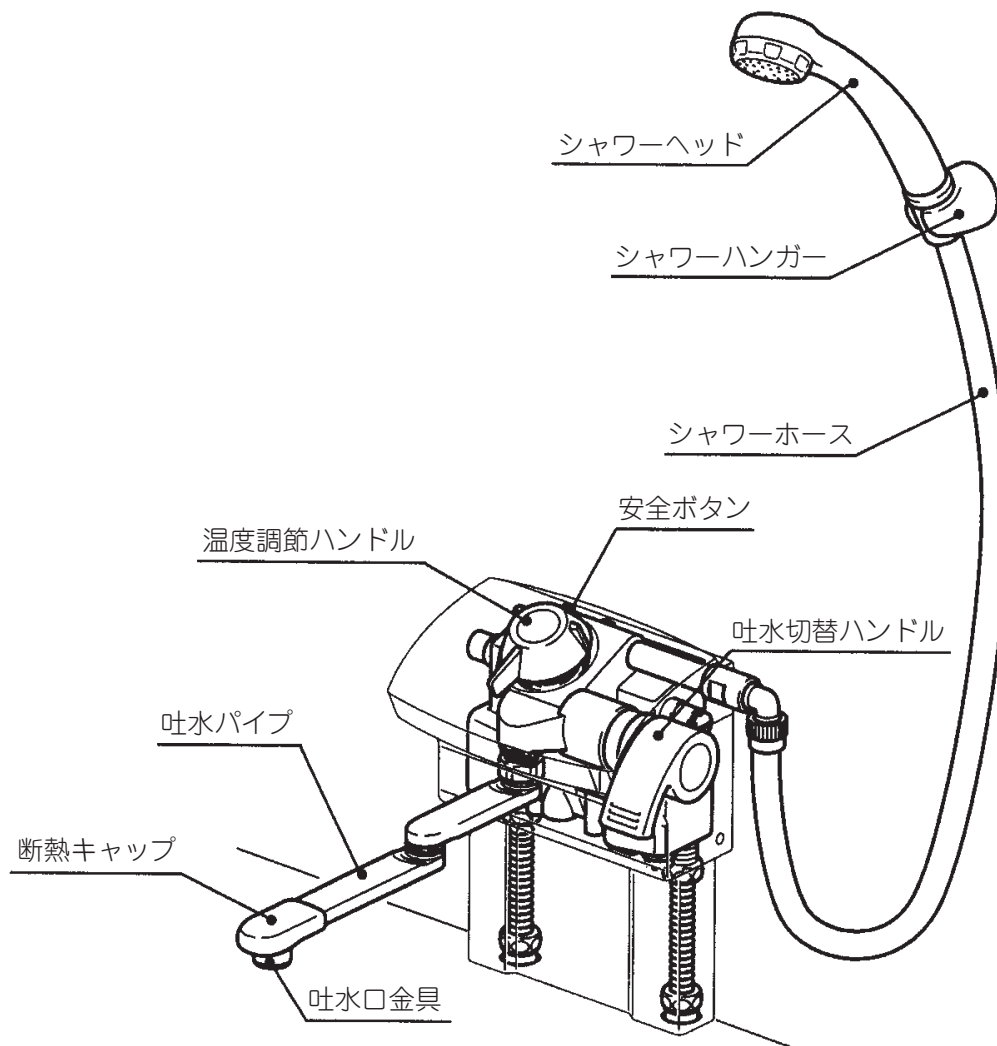


（詳細は付属の取扱説明書をごらんください）

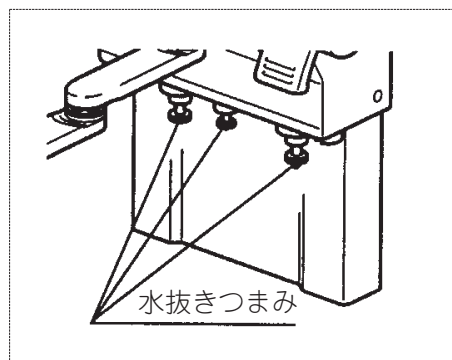
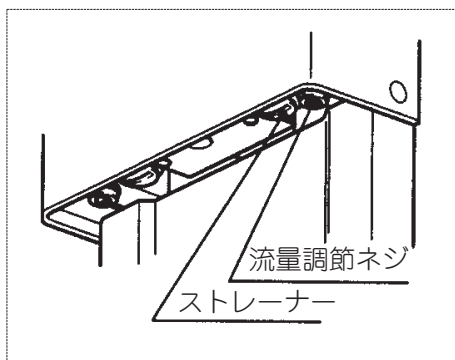
使用方法と使用上のご注意（続き）

水栓各部のなまえ

壁フィット型サーモシャワー水栓



寒冷地仕様

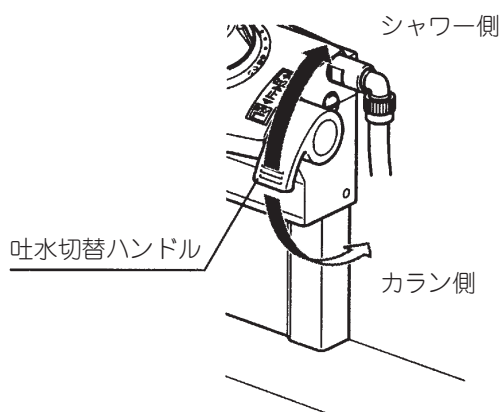


（お願い）各部品の形状など、仕様の異なる場合があります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

吐水・止水・シャワーの切り替え

吐水切替ハンドルを上方向に回すとシャワー側、下方向に回すとカラン側に切り替わります。また、吐水量は吐水切替ハンドルを回すにしたがって増加していきますので、好みの吐水量にあわせて、お使いください。



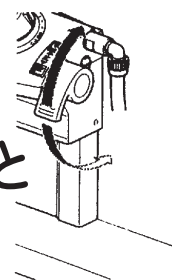
⚠ 注意



禁止

切替ハンドルの急激な操作は配管から漏水をまねくおそれがあります。切替ハンドルはゆっくり操作してください。
漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

ゆっくりと



湯温注意

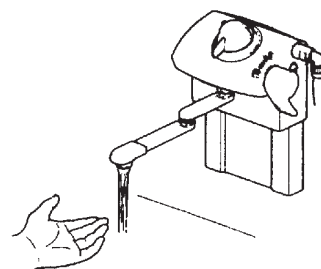
水栓を使うまえに、吐水切替ハンドルを見てカラン側かシャワー側かを確認してください。カラン側とシャワー側を間違えると、お湯を不意に浴び、やけどをするおそれがあります。

確認！！



湯温注意

水栓を使うまえに数秒間吐水した後、必ず手で適温かどうか確かめてください。最初に高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

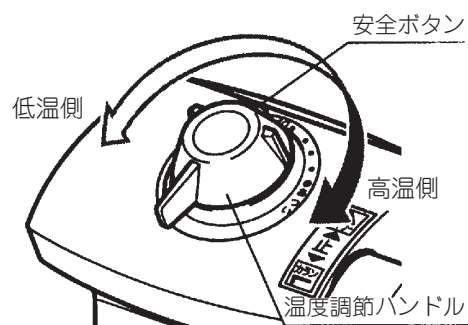


温度の調節

温度調節ハンドルを左に回すと低温、右に回すと高温になります。好みの温度にあわせて、お使いください。

（お願い）

熱いお湯は、安全ボタンを押しながら右に回してください。



使用方法と使用上のご注意（続き）

⚠ 注意

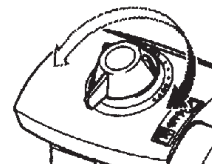


禁止

温度調節ハンドルを急に回すと温度が急上昇することがあります。温度調節ハンドルはゆっくり操作してください。

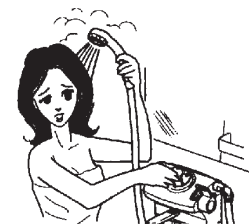
やけどをするおそれがあります。

ゆっくりと



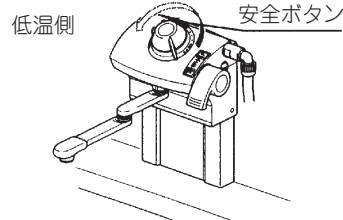
湯温注意

シャワー使用中は湯温・湯量の調節はしないでください。操作を誤ってやけどをするおそれがあります。



湯温注意

使用後は必ず温度調節ハンドルの安全ボタンの位置を40以下に戻しておいてください。次に使用するとき、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



湯温注意

湯温の確認は配管内の冷めた水を流して数秒待ち安定してからおこなってください。湯温が変動してやけどをするおそれがあります。



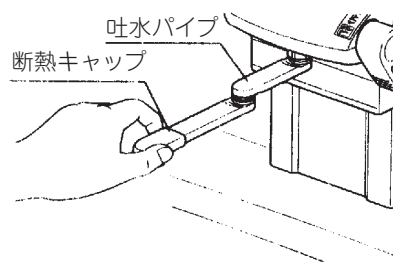
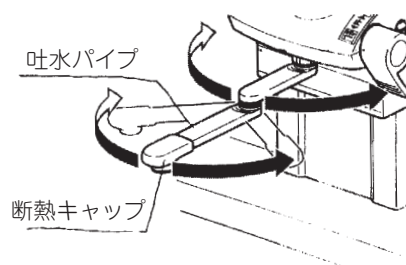
吐水位置の調節

吐水位置は吐水パイプの左右の回転範囲内で選べます。

断熱キャップを持ち、ゆっくりと左右いずれかに回転させて、お好みの位置に調節してお使いください。

（お願い）

- 吐水位置の調節は必ず、断熱キャップ部を持っておこなってください。やけどや吐水パイプに指をはさむおそれがあります。
- 吐水位置の調節ゆっくりとおこなってください。吐水パイプが水栓本体にあたり、カバー部分が割れるおそれがあります。



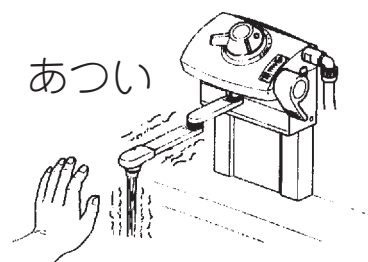
使用方法と使用上のご注意（続き）

⚠ 注意



湯温注意

高温の湯の使用時、また使用の直後は吐水パイプに直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。

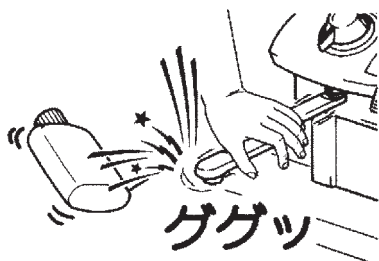


⚠ 注意



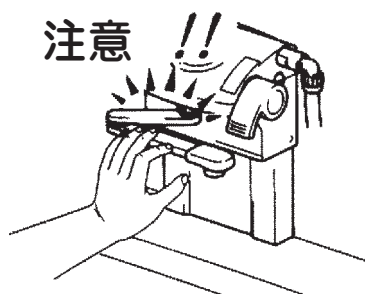
禁止

吐水パイプに無理な力を加えないでください。水栓が破損し、けがをしたり、漏水するおそれがあります。



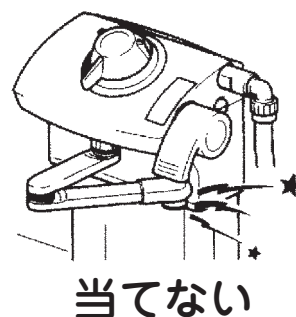
禁止

パイプの収納時などに指をはさまないでください。けがをするおそれがあります。



禁止

吐水パイプをカバーや壁にあてないでください。水栓が破損し、けがをしたり、漏水するおそれがあります。



水抜き方法（寒冷地仕様の場合のみ）

⚠ 注意

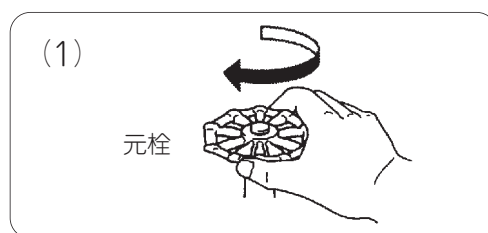


水抜き

凍結のおそれのある場合は、屋内配管の水抜き操作とあわせて下記の手順にしたがって水抜きをしてください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らすおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

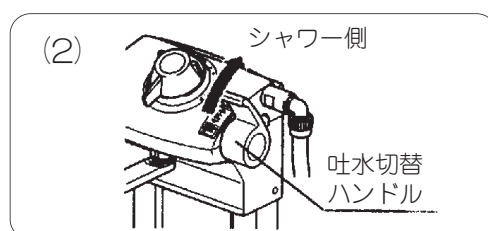
(1) 家屋の元栓を締めてください。



(2) シャワーヘッドを床面に置き、吐水切替ハンドルをシャワー側にしてください。

(お願い)

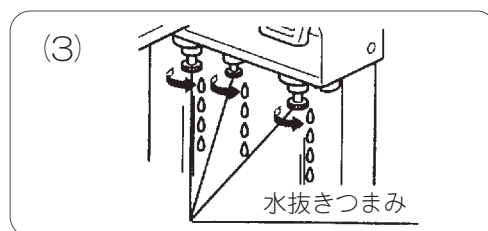
このとき、配管部の止水が完全にされているか確認してください。



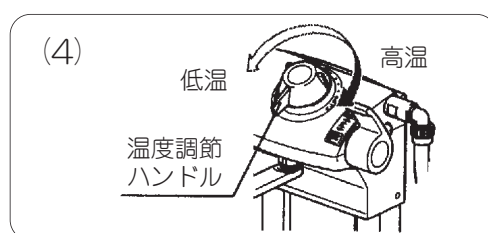
(3) 混合水栓本体およびストレーナーの水抜きつまみを湯側・水側ともにゆるめてください。

(お願い)

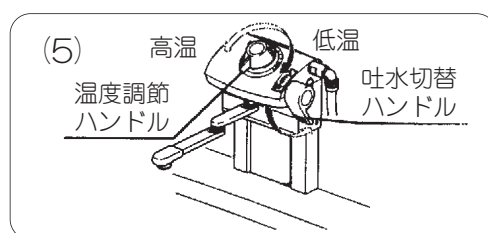
湯側のストレーナー内には、熱湯が溜まっている場合がありますので、やけどに注意してください。



(4) 温度調節ハンドルを高温側に合わせて、水が出なくなってから、さらに低温側に回してください。



(5) 水が出なくなったら、吐水切替ハンドルをカラン側にして、再度温度調節ハンドルを高温側・低温側に回してください。



⚠ 注意



湯温注意

高温の湯を使った後は、しばらく水を流してください。水栓内に残った高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

(6) 再通水する時は、水抜きつまみを元通りに締め吐水切替ハンドルが止位置にある事確認してからお使いください。

使用方法と使用上のご注意（続き）

（9）握りバーについて

浴室でのつかまり立ちや、移動の際にご使用ください。

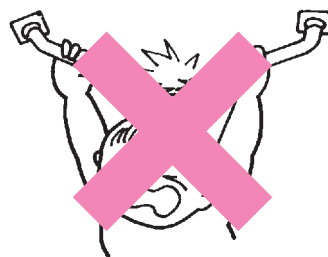
移動や立ち上がりには便利です

注意



禁止

握りバーやランドリーパイプなどに、ぶらさがらないでください。
転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



- 握りバーは表面が樹脂コーティング仕上になっておりますので、鋭利な物や、硬い物で傷をつけないでください。

（10）ドアについて

使用しているドアは、出入りを容易にするため段差を少なくしてあります。

ドアの開閉は静かに

注意



禁止

ドアの急激な開閉はしないでください。（ドアは静かに開閉してください。）
手や足をはさまれて、怪我をするおそれがあります。

ドアハンドルや引手に体重をかけないでください

ドアハンドルや引手にお子様がぶら下がらないようご注意ください

- 体重をかけたり、ぶらさがったりしますと、ドアがはずれ怪我をするおそれがあります。

ドアガラリに直接水をかけないようにしてください

ドアロックは水をきらいます

- ドアロックに水をかけたりしますとサビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなる場合がありますのでご注意ください。

使用方法と使用上のご注意（続き）

お湯の室外流出に注意

- 入浴時はきちんとドアを閉めてご使用ください。浴槽のあふれたお湯やハネたお湯が浴室外に出ることがあります。
- ドアのまわりに故意にシャワー等でお湯をかけないでください。ドアには換気などのためのスキマが設けてあるため、お湯が浴室外に出ることがあります。
- 浴槽満水状態で一気に入浴しないでください。あふれたお湯がドアのスキマから浴室外へ流れ出ることがあります。

出入口の排水溝を定期的に清掃してください

- 排水溝を月に1回は必ず清掃してください。排水溝がつまると床に流れた水が外にでます。
- 排水溝のカバーは必ず取付けてご使用ください。カバーを取付けずにご使用になられると、床に流れた水が外に出るおそれがあります。

〈折戸仕様〉

錠は上部のみ掛かります。必ず障子を閉めた状態でつまみを操作してください。

浴室に入り中から錠をかける場合

- 上部つまみを上に上げてください。

錠をかけた浴室から出る場合

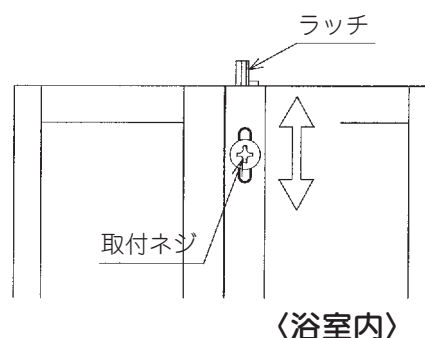
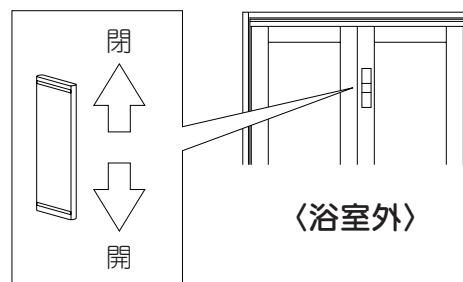
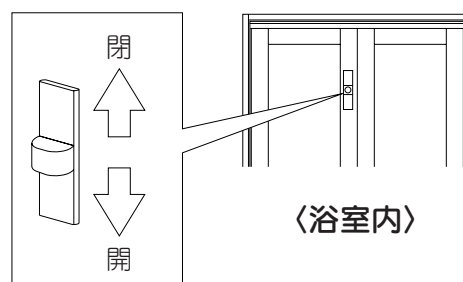
- つまみをもとにもどしてください。

錠をかけてある浴室に入る場合

- 上部つまみを下にくだげてください。

開閉が固くなった場合

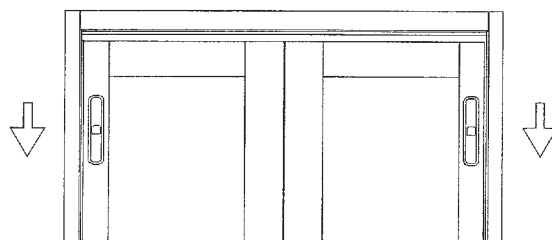
- ドア中央部上の取付ネジをゆるめてラッチを下げて調整してください。調整後は取付ネジを必ず締めてください。



使用方法と使用上のご注意（続き）

非常時の場合

- 脱衣室側ドア上コーナー部の両側のレバーをげ下ればドアを取り外すことができます。その際、ドア中棧手掛け部を持ち、浴室内に倒れないように注意してください。
- ※ 非常の時以外は、レバーを操作しないでください。

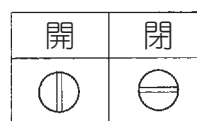
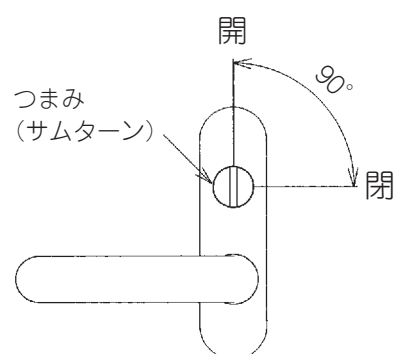


〈框戸仕様〉

ドアロックは次の要領で施錠、解錠することができます。

浴室に入り中から錠をかける場合

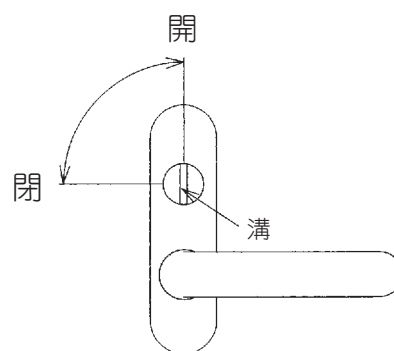
- レバーハンドルの上のつまみ（サムターン）を90° 回してください。



〈浴室内〉

錠をかけた浴室から出る場合

- レバーハンドルの上のつまみ（サムターン）をもとにもどしてください。
レバーハンドルを下げますと、ロックは解除されます。



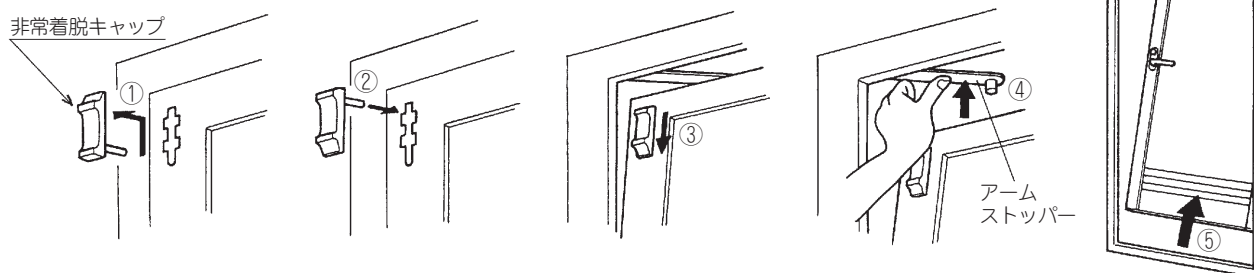
〈浴室外〉

非常時の場合

非常時は脱衣室側より次の要領で障子をはずすことができます。

- ① 非常着脱キャップを上スライドしてはずします。
- ② 非常着脱キャップを上下逆にして差し込みます。
- ③ レバーハンドルを持ちながら、非常着脱キャップを下にスライドし、ドアを浴室内側に傾けます。
- ④ アームストッパーを指で押し上げて、ドア上部をはずします。
- ⑤ ドアを持ち上げながらはずします。

使用方法と使用上のご注意（続き）



※非常の時以外は、キャップを操作しないでください。

〈片引戸、3枚引戸仕様〉

浴室に入り中から錠をかける場合

- ハンドルの上のつまみ（サムターン）を 90° 回してください。

錠をかけた浴室から出る場合

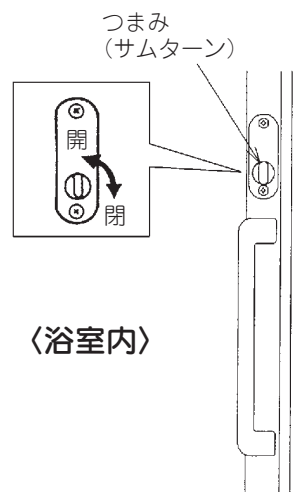
- ハンドルの上のつまみ（サムターン）をもとにもどしてください。

錠をかけてある浴室に入る場合

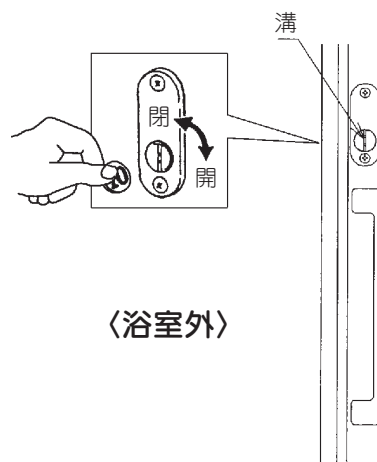
- つまみの溝にコイン等を押し当てて回しますとロックが解除されドアを開くことができます。

キャッチャーのかかり具合が悪い場合

- 枠についているキャッチャーのネジをゆるめて左右に動かしてください。

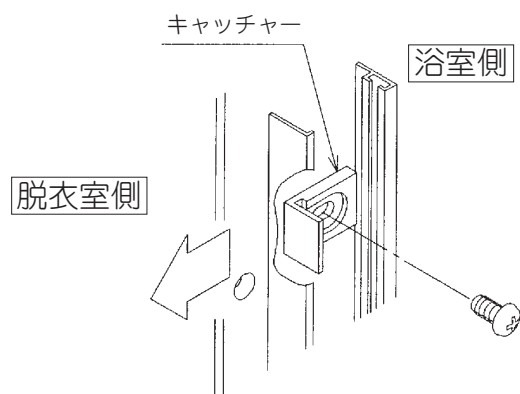


〈浴室内〉



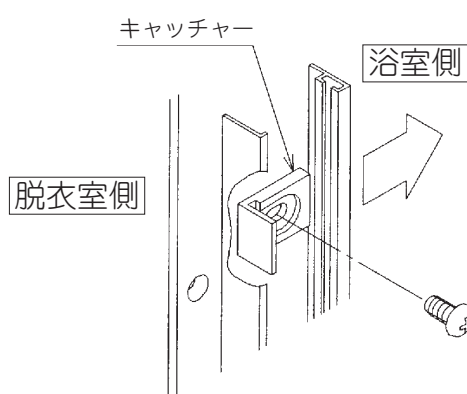
〈浴室外〉

〈アタリが強い場合〉



矢印の方向に動かす

〈アタリが弱い場合〉



矢印の方向に動かす

使用方法と使用上のご注意（続き）

（11）袖カウンターについて（EX-1818のみ）

浴室内で日常ご使用になる小物品を置く場所としてご利用ください。

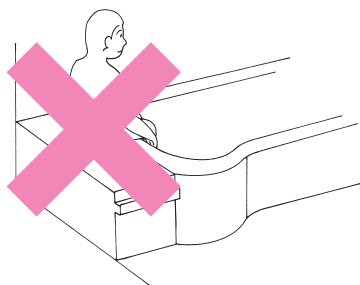
カウンターは腰掛けではありません。腰掛けないでください。

⚠ 注意



禁止

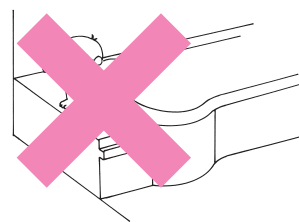
袖カウンターを腰掛けとして利用しないでください。すべてケガをするおそれがあります。



禁止

浴槽のふちや、カウンターの上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。

足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



- 衝撃を加えるような、荒いご使用はやめてください。
カウンター及び他の部材を傷めます。

（12）カウンターについて

浴室内で日常ご使用になる小物品を置く場所としてご利用ください。

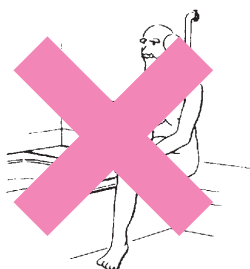
カウンターは腰掛けではありません。腰掛けないでください。

⚠ 注意



禁止

カウンターを腰掛けとして利用しないでください。すべてケガをしたり、カウンターが破損するおそれがあります。



禁止

浴槽のふちや、カウンターの上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。

足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。

- 衝撃を加えるような、荒いご使用はやめてください。
カウンター及び他の部材を傷めます。

使用方法と使用上のご注意（続き）

(13) 点検口について

天井の点検口は配線・ダクト・換気扇の点検、洗い場点検口は配管の点検などに使用します。

点検の際に注意していただきたいこと

- 点検の際は、付属品の上や天井の上にのったり、天井にぶらさがったりしないでください。
- 脚立をご使用の際は、床面を保護して作業は安定なかたちで行ってください。

点検後は点検口をもと通りに正しく

- 点検が終わった後は、点検口をもとの位置に正しく取付けてください。
- 洗場点検口は防水上重要な場所であり、点検後は周囲のスキ間のない様にしっかり締めてください。



注意



禁止

天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対にあけないでください。フタが外れ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響をあたえるおそれがあります。



禁止

洗場の点検口は設備点検時以外は、絶対にあけないでください。水もれのおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

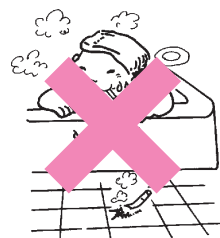
(14) 火気禁止・薬品禁止



禁止

火気禁止

- 浴室内でタバコを吸ったり、その他火気（コンロ・ストーブ等）を使用しないでください。火災やコゲ等の原因になります。



禁止

薬品の使用禁止

- 中性洗剤以外のクレンザー、みがき粉、シンナー、ベンジン、塩酸及び塩酸を含む洗剤、現像液、カビ取り剤などの薬品は使用したり、流したりしないでください。これらを使用しますと、傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどの事故を起こすことがあります。
- 毛染液、染料は変色しますのでご注意ください。



入浴剤
注意

硫黄系入浴剤の使用禁止

- 「湯の花」、「610ハップ」など硫黄系の入浴剤は使用しないでください。浴槽などのFRPおよび水栓などの金物を変色させるおそれがあります。



(15) 浴槽と風呂フタについて

浴槽

- 浴槽に硬いものをぶつけないでください。硬いものや、先のとがったものをあてますと表面に傷がついたり、ヒビ割れの生じる事があります。
- 冷えきった浴槽には、直接熱湯（80℃以上）を入れないでください。表面が変色したりいたむ原因となります。



注意



禁止

浴槽に無理な力をかけないでください。ヒビが入って、水がもれるおそれがあります。



禁止

イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などをいため、水もれのおそれがあります。



禁止

浴槽のふちに立ったり、カウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



禁止

浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付部がゆるむと、水もれします。



湯温注意

入浴前に、必ず湯温を確認してください。ヤケドをするおそれがあります。

使用方法と使用上のご注意（続き）

バブルバス

詳細についてはバブルバスの取扱説明書をご覧ください



警告



禁止

次の方は使用しないでください。

○妊産婦 ○心臓疾患のある方 ○高血圧の方 ○泥酔者
身体に異常をきたすおそれがあります。



禁止

吸込口のカバーを外して使用しないでください。運転中に吸い込まれて、おぼれたり、髪の毛を巻き込む等ケガをするおそれがあります。
髪の毛が浴槽内へ浸った状態でポンプを運転しないでください。吸込口カバーより髪の毛が吸い込まれ、ケガや事故の原因になります。髪の毛を持ち上げて浴槽内へ浸らないようにしてください。



注意



禁止

15分以上の入浴はしないでください。心臓に負担をかけるおそれがあります。

風呂フタ

●浴槽にお湯を入れて放置しておく場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。



警告



禁止

風呂フタの上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



注意



風呂フタ

風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。フタが外れたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。

風呂フタをご購入の際は、販売店もしくは(株)日立ハウステックの営業所またはサービス代理店までご連絡ください。

24時間風呂装置について

- 24時間風呂装置対応浴槽には、対応可能表示ラベルが貼付してあります。ラベルのない浴槽は、24時間風呂装置を継続してご使用になりますと、浴槽表面の荒れ、退色等の変化を生じるおそれがありますので、ご使用をさけてください。くわしくは販売店もしくは(株)日立ハウステックの営業所へご相談ください。

転倒に注意

- 浴室はすべりやすいところです。特にお年寄りやお子様が入浴される時は十分ご注意ください。

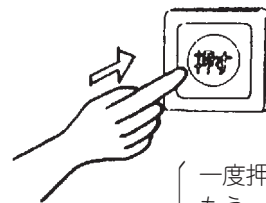
使用方法と使用上のご注意（続き）

(16) 非常連絡ブザー（オプション）について

ボタンのまわりへ故意にシャワー等で水をかけないでください。
週に一回、ブザーが鳴ることを必ず確認してください。

非常時にも浴室外へ連絡できます

- **押す** ボタンを一度押すと、ブザーが鳴り続けて浴室外へ連絡できます。もう一度押すと止ります。

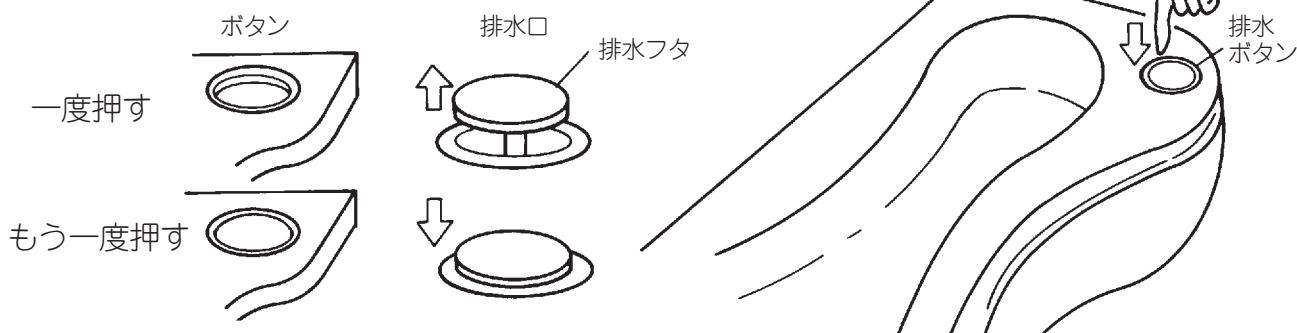


〔 一度押す : 鳴る
もう一度押す : 止まる 〕

(17) ポップアップ排水栓について（ポップアップ排水栓付浴槽のみ）

お湯を入れる前に排水口が閉じている事をたしかめてください。

- ボタンを一度押すと、排水口のフタが上り排水できます。
もう一度押すと、排水口のフタが下り止水します。

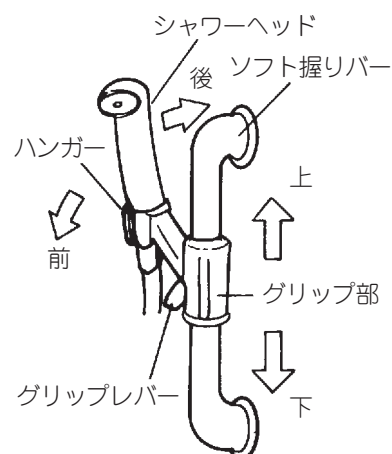


(18) スライドハンガー（オプション）について

- グリップ部レバーを握って、高さ調節をしてください。
手をはなした位置で止まります。

シャワーヘッドの高さを自由に変えられます

- 高さ調整
グリップ部レバーを握りハンガーを希望の位置まで上下にスライドさせ、レバーを放してください。一時固定されます。
- 角度調整
ハンガーは前後に動きますのでシャワーヘッドを掛け、角度調整をしてください。



⚠ 注意



禁止

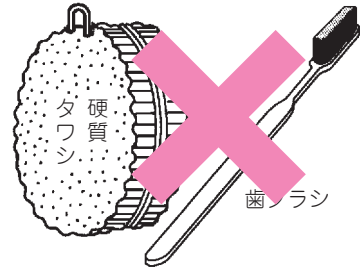
スライドハンガーをもって立上ったりしないでください。無理な力が加わり、上下に動き転倒するおそれがあります。

4. お手入れ方法

長くご愛用いただくために日頃のお手入れをしてください。

お手入れに必要な用具

- 乾いたやわらかい布またはスポンジ
- 中性洗剤（バスクリナー）
（ご注意）
- 硬質タワシなどは使用しないでください。浴室内面が傷つくことがあります。



使ってはいけない薬品など

- 傷・ハガレの原因となり部品の腐食・サビなどを起こします。絶対にお使いにならないでください。



(1) 壁・天井・ドアのお手入れ

少なくとも週1回

- やわらかい布、またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は水分、湯アカ・ホコリを拭き取ってください。

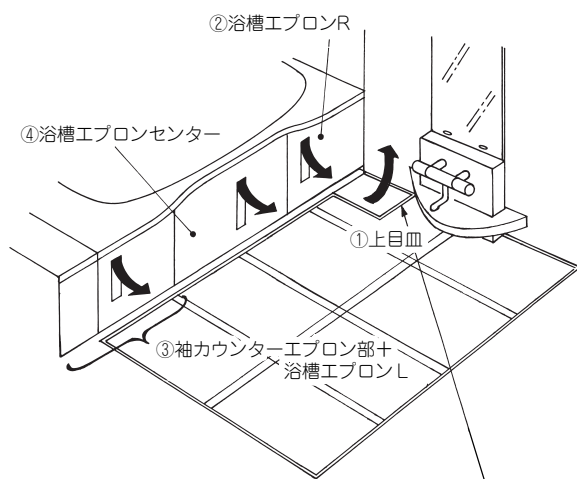
汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコールなどをやわらかい布につけて拭き取ってください。

お手入れ方法（続き）

（2）浴槽下のお掃除をする場合のエプロンの脱着

1. ①上目皿のコーナーに指をひっかけて取り外してください。
2. エプロンを洗い場のスキ間から手をかけ、上へあげてから手前に引いてはずしてください。



※注意 EX-1818（上目皿が洗場正面コーナー側にあるタイプ）

- ①上目皿をはずしてからエプロンを脱着してください。
- ③袖カウンターエプロン部に浴槽エプロンLは一体となっています。いっしょにはずしてください。

エプロン取り外し手順

- ①上目皿
- ↓
- ②浴槽エプロンR
- ↓
- ③袖カウンターエプロン
浴槽エプロンL一体
- ↓
- ④浴槽エプロンセンター

エプロン取り付け手順

- ④浴槽エプロンセンター
- ↓
- ③袖カウンターエプロン
浴槽エプロンL一体
- ↓
- ②浴槽エプロンR
- ↓
- ①上目皿

（3）目地のお手入れ

床・壁・天井の継目部分にはめ込まれている目地材（タイル目地やコーキング）には、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあります。

少なくとも週1回はカビの予防を

- やわらかい布またはスポンジに中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は目地部の汚れを拭きとってください。

お手入れの際注意していただきたいこと

- 目地材は防水性能上大切な役割をはたしております。取りはずしたり、傷つけたりしないようご注意ください。

（ご注意）

- お手入れするときは、歯ブラシ、タワシなどは使用しないでください。目地材をいため、水もれの原因となることがあります。

万一、損傷等した場合は、デパート・スーパー等で内容をご説明のうえ、シリコン系シーリング剤をお買い求めいただきお使いください。

お手入れ方法（続き）

（4）目皿・排水トラップ・排水マスカバーのお手入れ

排水トラップは常に清潔に

- トラップ内に毛髪やゴミが詰まりますと、排水能力が低下し不衛生になるばかりでなく、床面に水があふれたり水もれの原因になります。週に1回は清掃してください。
- 万一詰まった場合はすぐに取り除いてください。

掃除が終わったら

- 1) 排水マスカバー、排水導入管及びヘアーキャッチャーを正しく取付けてください。
- 2) 封水を保つため、必ずバケツ1パイの水を流してください。

お掃除の手順

（DX-1618の場合、洗場正面中央に上目皿があるタイプ）

DX-1618は洗場と浴槽下に各1コ計2コトラップがついています。

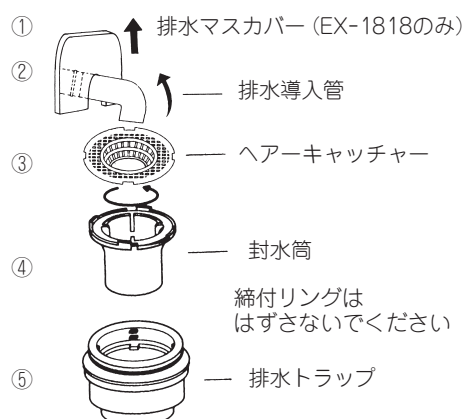
- 1) 上目皿をはずします。
- 2) 目皿を回して排水トラップからはずします。
- 3) 排水トラップの中の毛髪やゴミを取り除きます。



お掃除の手順

（EX-1818の場合、洗場正面コーナー側に上目皿があるタイプ）

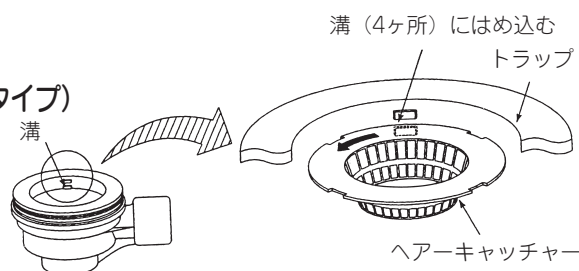
- 1) 上目皿をはずします。
- 2) 排水マスカバーを上へ引きはずしてください。
- 3) 排水導入管を軽く持ち上げ、先端を回転させてください。横方向へずらさないでください。
- 4) 毛髪やゴミが排水トラップに入った場合は、ヘアーキャッチャーをはずして、取り除いてください。
- 5) ゴミ等を取り除いた後、排水マスカバーと排水導入管及びヘアーキャッチャーを元の位置に戻してください。



ヘアーキャッチャーの取付

（EX-1818の場合、洗場正面コーナー側に上目皿があるタイプ）

- ヘアーキャッチャーはトラップ内側の溝（4ヶ所）の間にはめ込んで45度まわしてください。



お手入れ方法（続き）

（5）床及び浴槽のお手入れ

湯アカや石けんカスはその日のうちにお掃除を

- 湯アカは乾いてからでは落ちにくくなります。
- ご入浴後排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽をかるく水洗いしてください。
- 中性洗剤をお使いになれば、さらに美しくなります。



上目皿はこまめにお手入れ

- 上目皿は上にもち上げて取り外すことができます。湯アカや石けんカスの特にたまる所ですので、水洗いや中性洗剤で、こまめに洗い落としてください。
- 上目皿は、模様面が表面です。

汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコールをやわらかい布にしみこませて拭き取ってください。

ポップアップ排水栓

- 押しボタン周囲・排水口周囲は週に1回程度洗浄してください。
- 押しボタンのフタ・排水口のフタをはずして、内側を洗浄してください。

注意



清掃の際、目皿をとって、バケツの水をいっきに流した場合、浴槽より水があがる場合がありますが異常ではありません。
静かに流してください。

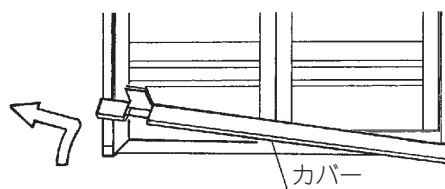
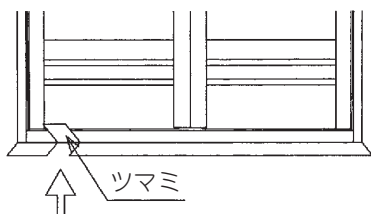
お手入れ方法（続き）

（6）ドア排水溝カバーのはずし方と清掃方法

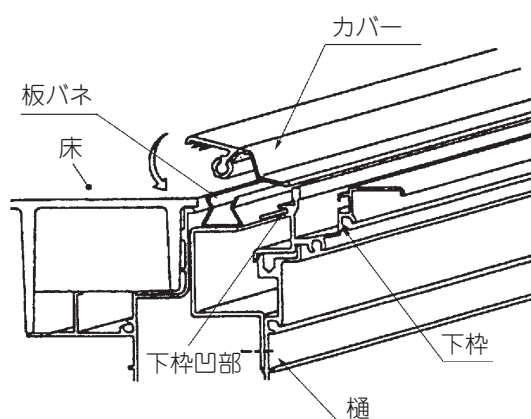
下記の要領でカバーをはずし、月1回程度は排水溝を清掃してください。

〈折戸仕様〉

- （1）障子を閉じた状態で、ツマミを軽く起こします。（2）ツマミ側から斜めに引き上げます。

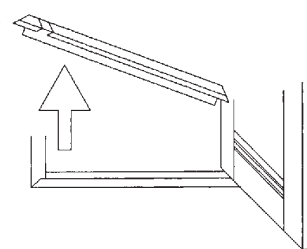
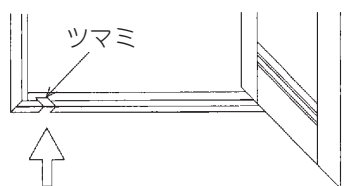
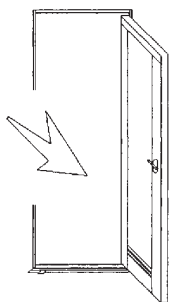


- （3）取付は、逆の手順で行います。カバーを下枠凹部に引っ掛け、板バネにカチッと音がするまで確実に押し込んでください。排水溝のカバーをはずした状態でご使用になりますと、床に流れた水が外に出るおそれがあります。また、ツマミは必ずおろしてください。おろさずにドアを閉じると破損するおそれがあります。

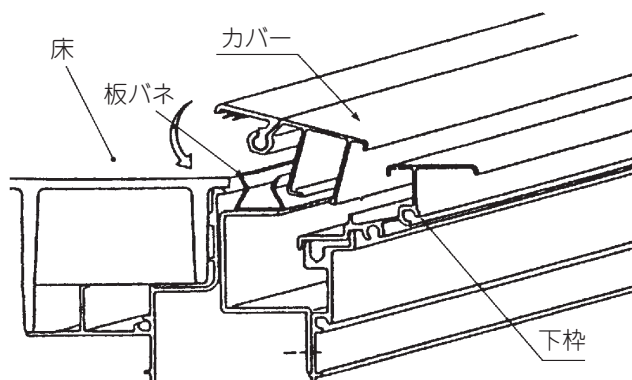


〈框戸仕様〉

- （1）ドアを全開にします。（2）ツマミを軽く起こします。（3）ツマミ側から持ち上げます。



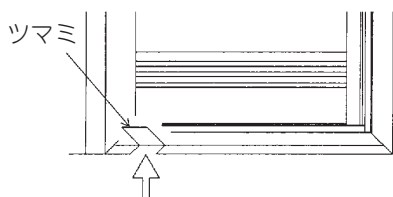
- （4）取付は、逆の手順で行います。排水溝のカバーは板バネにカチッと音がするまで確実に押し込んでください。排水溝のカバーをはずした状態でご使用になりますと、床に流れた水が外に出るおそれがあります。また、ツマミは必ずおろしてください。おろさずにドアを閉じると破損するおそれがあります。



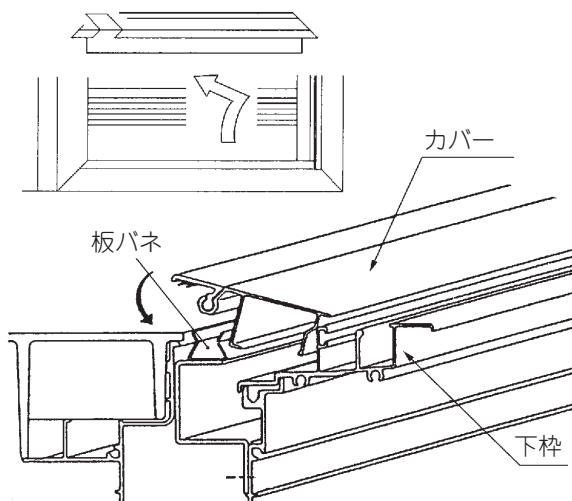
お手入れ方法（続き）

〈片引戸仕様〉

(1) ツマミを軽く起こします。



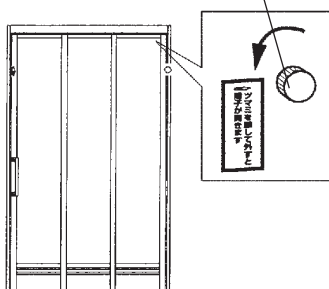
(2) ツマミ側から持ち上げます。



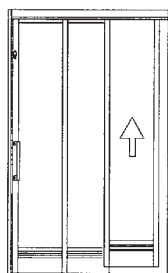
(3) 取付は、逆の手順で行います。排水溝のカバーは板バネにカチッと音がするまで、確実に押し込んでください。排水溝のカバーをはずした状態でご使用になりますと、床に流れた水が外に出るおそれがあります。また、ツマミは必ずおろしてください。

〈3枚引戸仕様〉

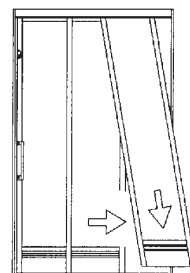
(1) 固定側障子のツマミネジを外します。 ツマミネジ



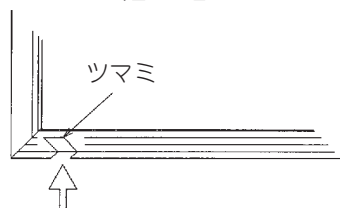
(2) 障子を持ち上げて



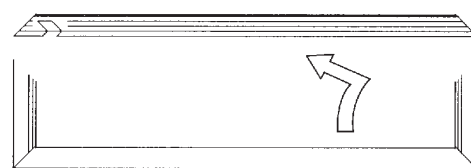
(3) 下部を手前に引きながら、下ろすと障子が外れます。この手順で全て外してください。



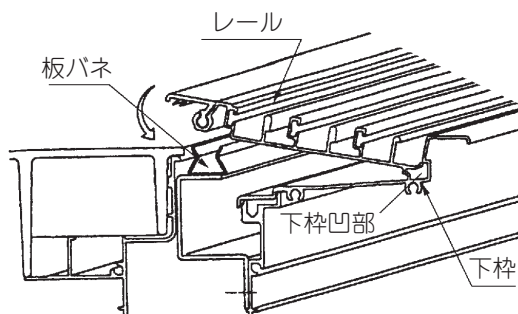
(4) ツマミを軽く起こします。



(5) ツマミ側から持ち上げます。



(6) 取付は、逆の手順で行います。レールを下枠凹部に引っ掛け、板バネにカチッと音がするまで確実に押し込んでください。また、ツマミは必ずおろしてください。



⚠ 注意



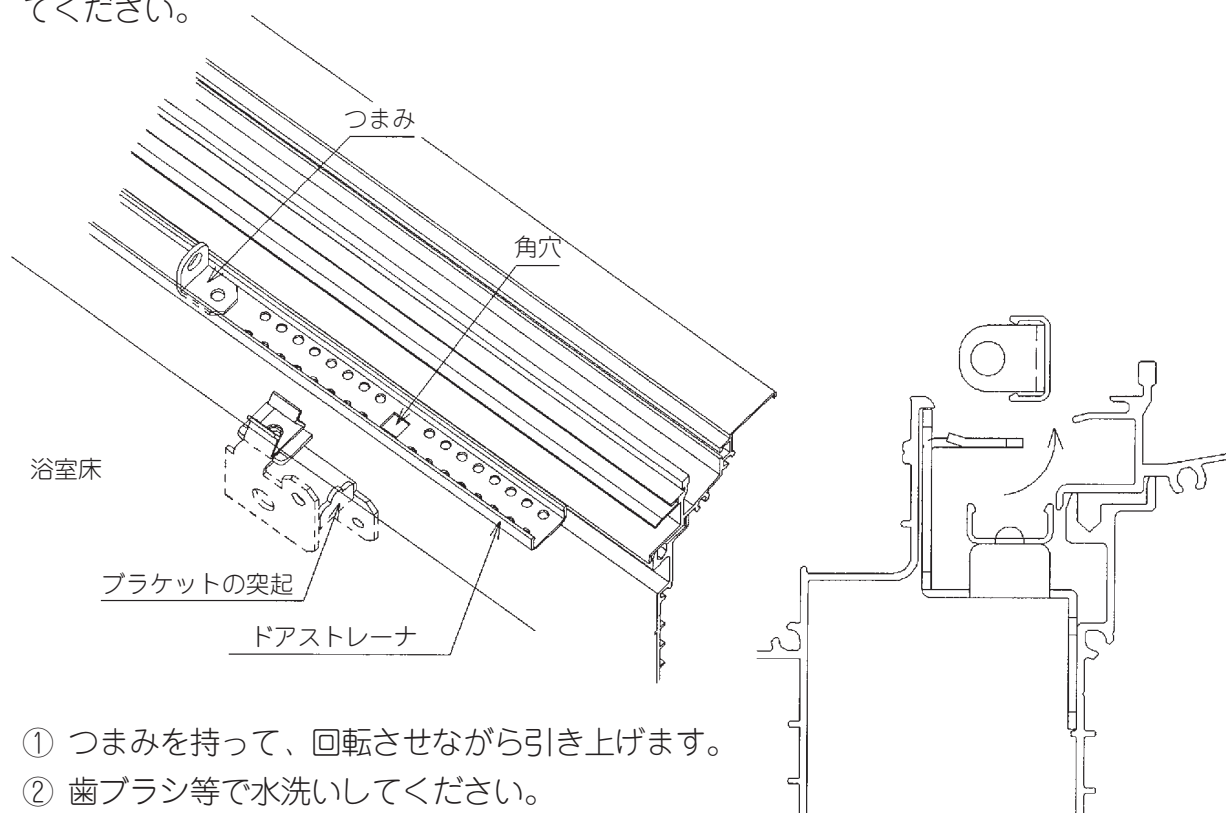
禁止

ドア枠とドアのすきまにシャワー等にて大量の水をかけた場合、脱衣室側へ沓ズリより水が流れ出るおそれがあります。ご注意ください。

お手入れ方法（続き）

〈ドアストレーナの取り外し方〉…折戸、3枚引戸仕様

折戸仕様と3枚引戸仕様の場合、排水溝内のドアストレーナを下記要領で取り外し清掃してください。



- ① つまみを持って、回転させながら引き上げます。
- ② 歯ブラシ等で水洗いしてください。
- ③ ①の逆の手順で入れてください。

ドアストレーナの角穴にブラケットの突起が入るように、おさめてください。

⚠ 注意



禁止

ドアストレーナの両端部は直接手を触れたり、振り回したりしないでください。ケガをするおそれがあります。

〈排水溝の清掃方法〉

排水溝は常に清潔に保つ様、月1回程度は清掃して下さい。

臭気が漏れたり、床に流れた水が外に出るおそれがあります。

また、清掃は直接手を入れずに、ブラシ等で水洗いしてください。

※排水溝内に髪の毛やゴミ等がある場合は、割りばし等で拾い上げてください。

（排水管の中に流すとつまりの原因となります。）

※洗剤を使用する場合は市販の中性洗剤をお使いください。

（排水溝の表面をいためますので酸性、アルカリ性の洗剤は絶対に使わないでください。）

お手入れ方法（続き）

（7）水栓のお手入れと点検

！ 注 意

年に1度は、配管の回りを見て水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

器具がいつまでも美しく保たれるよう日頃のお手入れをお願いします。

〈軽い汚れの場合〉

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。

〈ひどい汚れの場合〉

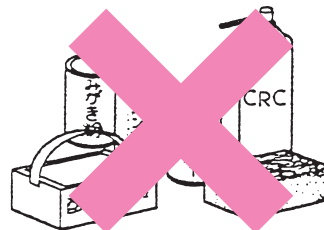
中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れを拭き取り、その後、乾いた布で仕上げてください。



（お願い）

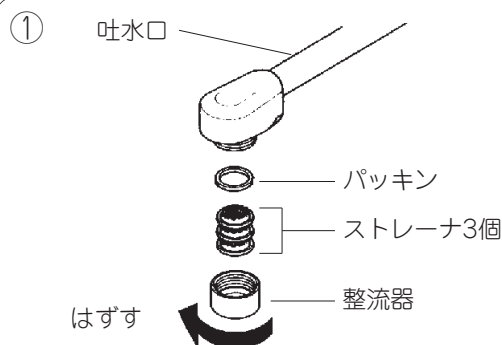
*みがき粉、クレンザーなど粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは、器具の表面を傷付けますので使用しないでください。

*酸性洗剤、塩素系漂白剤、銲物性潤滑剤、シンナー、ベンジンなどは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。



吐水口のストレーナの清掃

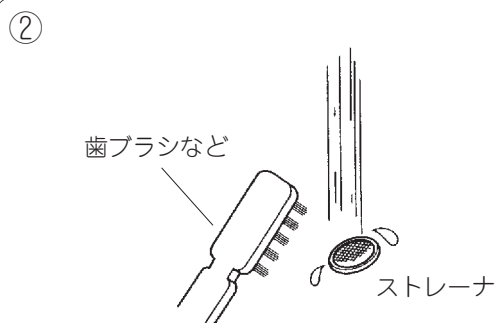
吐水口のストレーナにゴミ・水アカ等がつまんでいると、吐水量の減少、吐水の乱れ、吐水切換ハンドルを閉じていても吐水口内の残水が落ちる等の現象がありますので、下記の方法で清掃してください。



① 整流器を左に回して外してください。

注) 整流器内部の部品を紛失しないよう、ザルなどで受けをしてください。

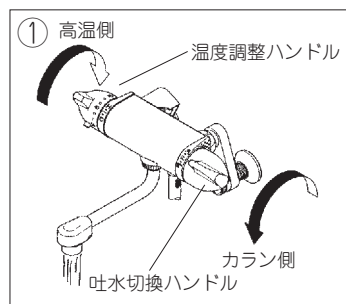
※清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



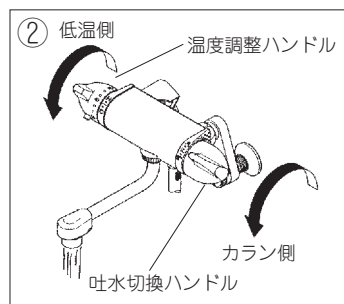
② ストレーナをブラシで水洗いします。

お手入れ方法（続き）

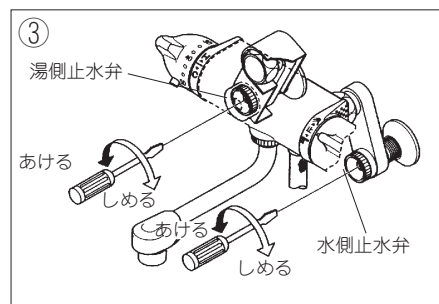
流量の調節



吐水切換ハンドルをカラン側に全開にした後、温度調整ハンドルを高温側いっぱい回して、吐水の太さを確認してください。



吐水切換ハンドルをカラン側に全開にした後、温度調整ハンドルを低温側いっぱい回して吐水の太さを確認してください。



止水弁を右に回すと流量が少なくなり、左に回すと多くなりますので湯側の太さと同程度になるよう水側を調節してください。

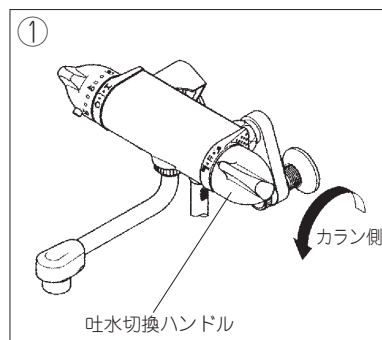
⚠ 注意

吐水されている湯や、本体部分は高温になっていますので直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。

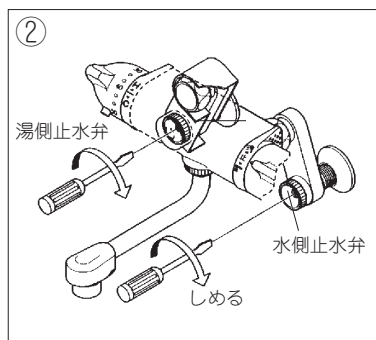
ソケットのストレーナの清掃

ソケットのストレーナにゴミ・水アカ等がつまっていると、吐水量が少なくなったり、給湯器の着火が悪くなり、温度調節がしづらくなりますので、下記の方法で清掃してください。

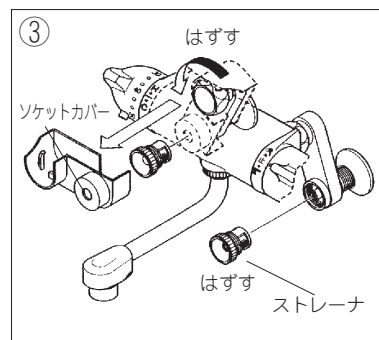
注) 湯側のストレーナ内には熱湯が溜まっている場合がありますので、やけどをしないように注意してください。



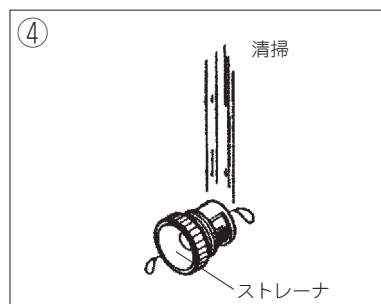
吐水切換ハンドルを下側に回し、吐水状態にします。



湯水の止水弁(2ヶ所)をマイナスドライバーで右に回して締め込み、湯水が出ないことを確認してください。



ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。湯側・水側のストレーナ(2個)を取りはずします。

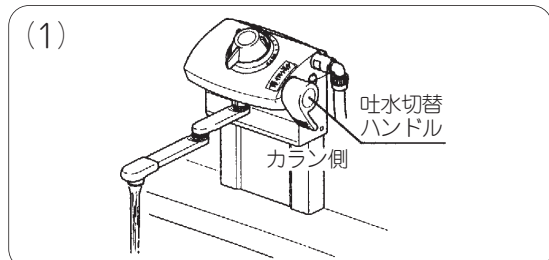


ゴミ・水アカ等を洗い流します。

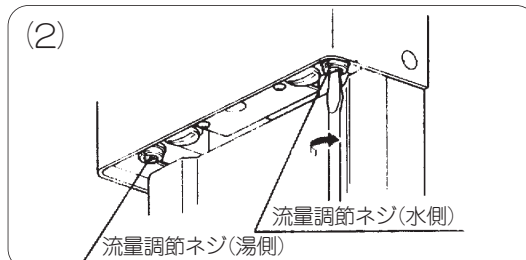
清掃後は上記と逆の手順で組み込んでください。ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルをカラン側にしてください。

お手入れ方法（続き）

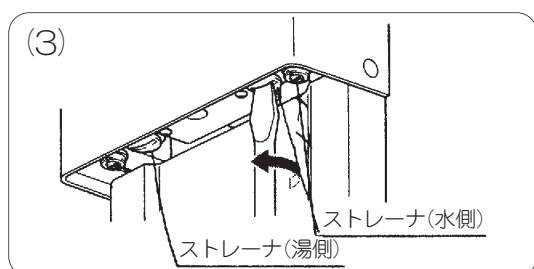
〈壁フィット型サーモシャワー水栓：LXカウンターの場合〉



切替ハンドルを下方方向に回し、吐水状態にしてください。



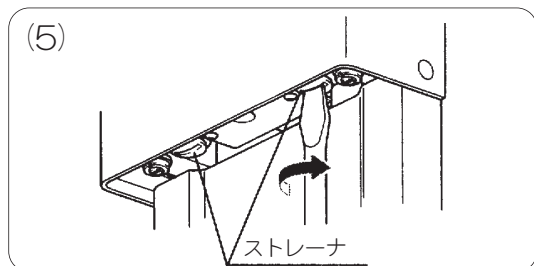
混合水栓本体の流量調節ネジを⌘ドライバーで右にいっぱいまで回して締め込み、湯・水を完全に止めてください。



ストレーナを大型の⌘ドライバーで左に回してはずしてください。



ストレーナ内部のゴミ・水アカ等を完全に洗い流してください。



ストレーナを混合水栓本体にねじ込んでください。ねじ込む際、ストレーナが回らなくなるまで、確実にねじ込んでください。

(8) シャワーホースのお手入れ

少なくとも週1回

- やわらかい布、またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて、少なくとも週1回は水分、湯アカ・ホコリを拭き取ってください。

汚れが落ちにくいときは

- 消毒用アルコールなどをやわらかい布につけて拭き取ってください。

お手入れ方法（続き）

（9）灯具の交換方法

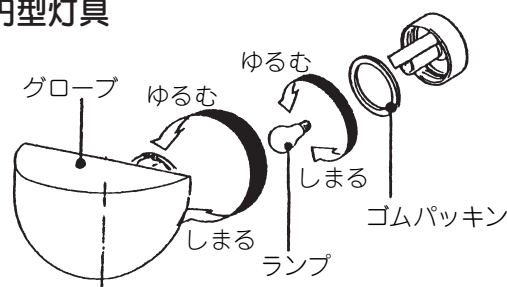
電源スイッチを入れても浴室灯がつかないときは、電球が切れていることが考えられます。次の手順で交換してください。

- ①電源スイッチを切ってください。（OFFにする）
- ②グローブを左に回してはずしてください。
- ③電球（60W以下）を取り替えてください。
- ④ゴムパッキンを忘れずに入れてからグローブを右に回して取り付けてください。

モチ型灯具



半円型灯具



交換時の注意

- 電源スイッチは必ず切ってから作業をしてください。
- 電球表面温度が下がったのを確認してから作業をしてください。
- ぬれた手での交換作業は危険です。
- 電球はセットされているワット数(W)のものと同じものをお求めください。

〈60W以下〉

セットされているワット数より大きいものをご使用になりますとグローブが加熱し事故につながります。

- ゴムパッキンはグローブ内に湯気を入れない役目をしておりまゝです。忘れずに入れてください。また、はみだしたり、ねじれたりしないようお確かめください。

⚠ 注意



灯具・換気扇のお手入れの場合は、必ず電源を切ってから作業をしてください。感電やケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。

お手入れ方法（続き）

（10）浴槽下及びバランス釜循環パイプのお手入れ

浴槽下も週1回のお手入れを

- 浴槽の下にホース等で放水して掃除してください。

循環パイプの中についた湯アカもとりましょう

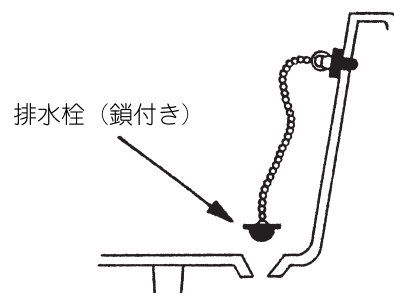
- ① 循環パイプの上部のカバーを取りはずします。
- ② ホース等を循環パイプの中にさしこみ勢よく放水して湯アカをとり除いてください。

（11）消耗部品の交換

- 次の部品は、消耗部品です。耐久部品ではありませんので、傷みが生じた場合交換してください。

消耗部品……排水栓（鎖付き）、風呂フタ、電球、水栓のパッキン類

※保証期間経過後、及びご注意事項をお守りいただけなかった場合の交換・修理は有料となります。



5. アフターサービスについて

- 保証期間内および保証期間経過後の修理につきましても、お買い求めの販売店または営業所にご相談ください。
- このバスルームには保証書がついています。
- 保証書は、記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から2年間です。（ただし、水栓、シャワーなどの取付器具類およびメジ、コーキング部などについては1年間とします）
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。（保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。）

6. 浴槽・床パンなどの廃棄について

このバスルームを廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

7. 故障かなと思ったら

商品に故障が生じたときは次の点をお調べになってから、お買い求めの販売店、またはお近くの**(株)日立ハウステック**の営業所にご相談ください。

現 象	原 因	処置方法
鏡表面の汚れが取れない。	水滴が乾いて、こびりついたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
排水が悪い。	ゴミが溜まっていますか。	トラップのゴミを取り除き、捨ててください。（排水口の中には捨てないでください。）
洗髪の時泡が残る。	泡の量が多いと、水と一っしょに流れないためです。	シャワーをかけて流してください。
照明が点灯しない。	球切れではありませんか。	スイッチおよびブレーカーを切って、新品の電球（60W以下）に交換してください。
天井に水滴がたまる。	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。残り湯がある場合は、必ず風呂フタをしてください。
水栓金具のハンドルを回すと、カンまたはブーンという音がする。	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくり回してください。
シリコン、目地にカビが生える。	浴室の換気と手入れは十分ですか。	入浴後は換気扇を回したり、窓をあけるなどして、浴室内を乾燥させてください。カビは一度生えると、カビ取剤や漂白剤ではきれいに取除くことはできません。取替える場合は、販売店にご相談ください。
水栓から水が漏れる。	パッキンが劣化していることがあります。	パッキンは消耗品ですので、水漏れが発生したら、お買い上げの販売店または、別記の (株)日立ハウステック の営業所へお問い合わせください。

故障かなと思ったら（続き）

現 象	原 因	処置方法
水栓の吐水量が少なくなり、温度調節が悪くなった。	水栓のストレーナーに、ゴミが詰まっています。	水栓のストレーナーを掃除してください。掃除方法については器具の取扱説明書をごらんください。
換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇（グリル部）に当たり、水滴となって落下しますが、異常ではありません。	故障などではありません。 入浴後もしばらくの間、換気扇を運転させてください。
ホームバブル（オプション品）が作動しない。	——	付属の取扱説明書に従い、診断を行ってください。 それでも作動しない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
お掃除の際に洗場の排水口に洗面器の水を急激に流すと浴槽の排水口の水位が上がる。	浴槽の排水口と洗場の排水口は直接継ぎ合っています。においを通さない為の水が溜められていますので異常ではありません。	故障などではありません。 静かに水を流してください。
洗場に小さな水玉が残り、なかなか乾かない。	水をはじき易い強化プラスチックで作られている為、どうしても一部の水が残ることがあります。異常ではありません。	——

以上の処置で正常にならない場合には、お買上げの販売店へ連絡してください。

●万ーの際は……

故障や異常がありましたら、最寄りの
(株)日立ハウステックの営業所または
サービス代理店まで、ご連絡ください。
さっそく修理点検におうかがいします。

※お取り扱い、又はお手入れが適当で
ないために生じた補修及び部品交換
などは有償となりますのでご了承ください。

株式会社 日立ハウステック

住機環境事業本部	〒173-0004	東京都板橋区板橋3-9-7(板橋センタービル)	☎(03)5248-5500
札幌住機環境出張所	〒007-0841	札幌市東区北41条東13丁目2-10	☎(011)702-3263
東北住機環境営業所	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈1-5-37	☎(022)771-8360
関東住機環境営業所	〒310-0911	水戸市見和1-336-6	☎(029)231-3191
住機環境東京支店	〒173-0004	東京都板橋区板橋3-9-7(板橋センタービル)	☎(03)5248-5130
新潟出張所	〒950-0913	新潟市鑑1-16-20	☎(025)245-6185
住機環境中部支店	〒481-0038	愛知県西春日井郡西春町大字徳重字御宮前62	☎(0568)25-7141
静岡出張所	〒422-8036	静岡市敷地2-26-28	☎(054)238-3226
北陸出張所	〒920-0067	金沢市二宮町140街区17	☎(076)231-1651
住機環境関西支店	〒532-0033	大阪市淀川区新高3-9-14(MMビル)	☎(06)4807-1802
神戸出張所	〒658-0045	神戸市東灘区御影石町1-6-34	☎(078)841-0583
中四国住機環境営業所	〒732-0044	広島市東区矢賀新町4-1-27	☎(082)287-3822
九州住機環境営業所	〒815-0031	福岡市南区清水1-23-11	☎(092)562-1330

●日立リビングセンター(住まいのショールーム)………

(札幌)	〒007-0841	札幌市東区北41条東13丁目2-10	☎(011)750-5600
(秋田)	〒010-0954	秋田市山王沼田町2-8	☎(018)864-1138
(盛岡)	〒020-0823	盛岡市門2-1-48	☎(019)654-3400
(山形)	〒990-0832	山形市城西町4-4-16	☎(023)644-9938
(仙台)	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈1-5-37	☎(022)771-8351
(郡山)	〒963-8025	郡山市桑野4-5-9	☎(0249)33-7225
(宇都宮)	〒321-0932	宇都宮市平松本町1112-2	☎(028)636-9025
(水戸)	〒310-0911	水戸市見和1-336-6	☎(029)228-3485
(下館)	〒308-0851	下館市大字下江連1250(日立ハウステック結城工場総合システム展示場)	☎(0296)20-2418
(千葉)	〒260-0031	千葉市中央区新千葉2-7-2(大宗センタービルディング1F)	☎(043)248-9720
(大宮)	〒330-0038	大宮市宮原町2-125-11	☎(048)667-1112
(東京)	〒101-0047	東京都千代田区内神田1-1-14(日立鎌倉橋別館内)	☎(03)3291-4805
(立川)	〒190-0022	立川市錦町3-5-23(広瀬ビル)	☎(042)528-2751
(横浜)	〒220-0004	横浜市西区北幸2-6-26(HI横浜ビル)	☎(045)314-8886
(甲府)	〒400-0116	山梨県中巨摩郡竜王町玉川1433	☎(055)276-2012
(静岡)	〒422-8036	静岡市敷地2-26-28	☎(054)237-9177
(長野)	〒381-0034	長野市大字高田藤倉1505-1	☎(026)227-0340
(新潟)	〒950-0913	新潟市鑑1-16-20	☎(025)243-3771
(長岡)	〒940-2121	長岡市喜多町389-1	☎(0258)28-0455
(金沢)	〒920-0067	金沢市二宮町140街区17	☎(076)231-1651
(富山)	〒939-8214	富山市黒崎111-1	☎(076)493-1100
(福井)	〒918-8237	福井市和田東1-608	☎(0776)25-6369
(名古屋)	〒481-0038	愛知県西春日井郡西春町大字徳重字御宮前62	☎(0568)25-3071
(岡崎)	〒444-0823	岡崎市上地2-19-2	☎(0564)71-2508
(岐阜)	〒500-8635	岐阜市宇佐南2-3-8	☎(058)272-7521
(鈴鹿)	〒513-0809	鈴鹿市西条9-21	☎(0593)84-5251
(京都)	〒612-8443	京都市伏見区竹田藁屋町57	☎(075)622-6943
(大阪)	〒567-0047	大阪府茨木市美穂ヶ丘5-3	☎(0726)21-4590
(神戸)	〒658-0045	神戸市東灘区御影石町1-6-34	☎(078)856-6645
(姫路)	〒672-8045	姫路市飾磨区中野田2-65	☎(0792)35-6165
(奈良)	〒634-0006	奈良県橿原市新賀町471	☎(0744)29-8120
(和歌山)	〒641-0014	和歌山市毛見629-8	☎(0734)45-2744
(岡山)	〒700-0953	岡山市西市301	☎(086)241-3161
(広島)	〒732-0044	広島市東区矢賀新町4-1-27	☎(082)285-4913
(松江)	〒690-0826	松江市学園南1-13-38	☎(0852)21-9980
(山口)	〒754-0022	山口県吉敷郡小郡町花園町5-13	☎(0839)74-1403
(高松)	〒761-8071	高松市伏石町524	☎(087)867-8401
(松山)	〒790-0047	松山市余戸南3-6-30	☎(089)971-3411
(長崎)	〒851-2107	長崎県西彼杵郡時津町久留里郷419-2	☎(095)882-8896
(福岡)	〒815-0031	福岡市南区清水1-23-11	☎(092)542-7022